

淡路支部ニュース

2012.6.5
@No. 283

兵庫県保険医協会
淡路支部
◎淡路洲本市物部三丁目44
◎松本区院内
☎0799-210073

「原発問題と臨床医」

記念講演

淡路支部総会を開催



郷地秀夫・協会副理事長が
記念講演した(五月二十六日)

Let's...

度々ですが、政治が悪いときは天気もオカシイ。一週の間は春夏秋冬が出現したり、狭い日本の中で道州制を布いたように、そして太平洋側と日本海側で変わることもしばしば!

今年はまだ本紙二月号に書いた以上に世界中アチラコチラで選挙・選挙。既に終わったもの、これからのもっと目マグルシイ!

加えて変な事件象が次々と起こる。マスコミ諸君も大変でしょう? そしてまた同じような事件が一見似るよう起こる。若者の運転する車が無軌道に走って殺人が起こる、振り込め詐欺、長距離バス・観光バスの事件、週刊誌もテーマに困るのでは?

ここでまた童歌(わらべうた)を。

寒い間は土の中

隠れて暮すあの蛙
食わずに眠り泣きもせず
辛抱強いあの蛙
夏になったらアチコチで
田んぼの中を元氣よく
歌って踊って面白く
遊ぶ可愛いあの蛙

その点、淡路島は一応、平穏無事、結構ですね。西からは四国の山で、東からは紀州の山々で雨は落としてきてくれるし、観光地と言いつつ通り道。今年も東京や大阪が観光名所となっているのか!? もっとも、脚がすつかり弱くなり、介護の姿さんを抱えては私自身は行けません。

さて先月は金環食、東京スカイツリーのオープン。原発の稼働か停電かも目が離せないかもしれない。一年に一度の支部総会は五月二十六日に。参加の皆さま、お疲れ様でした。そして六月も行事多々。天皇陛下のご訪英と同様? 立派に平穏に成功されることを祈って: 【松本記】

兵庫県保険医協会淡路支部「日常診療勉強会」ご案内

頭痛診療のコツ

日時 6月16日(土)15時～

会場 洲本市健康福祉館(みなと元気館)3階
(洲本市応急診療所の建物。洲本市港2-26)

講師 西宮市・山口クリニック

院長 **山口三千夫**先生

共催 エーザイ株式会社

参加費 無料 ※軽食付き



お申し込み・お問い合わせは、
担当事務局 TEL 078-393-1807 楠(クスノキ)、西尾まで

【FAX返信先 078-393-1802 楠宛】
6月16日(土)淡路支部日常診療勉強会「頭痛診療のコツ」に

() 参加する () 都合がつけば

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____

お名前 _____



保険医協会第81回評議員会(五月二〇日)での発言

病院における協会勤務医 説明会の取り組みについて

淡路市 中谷正史 評議員

発言全文

私は、一九九〇年九月一日、兵庫県がんセンターで保険医協会に入会しました。現在は淡路市の津名病院で院長をしています。

ここ数年、当院勤務医を対象に、お昼の時間などを使って保険医協会の説明会を開催しています。加えて、私個人からも勤務医に直接入会の案内を行っています。それらをきっかけに、実際に何人かの先生に入会していただきました。

協会の事業内容は、開業医だけでなく、特に若手勤務医に値打ちがあります。共済制度は若い頃から加入することで、万一の際のリスクや将来のための計画的な資金積み立てに有用で、安心して医業に打ち込む上で有効です。

勤務医個人としても、訴訟リスクへの備えは不可欠で、協会の医療責任保険を他の共済制度とあわせて活用することで、一層メリットが大きくなります。

また、若手勤務医は専門性を深めるとともに、幅広く臨床研究に精通することも必要です。協会の各種研究会は、様々な分野の研究や時々のトピックを取り上げ、臨床経験豊富な講師に学ぶことができます。勤務医が協会事業を日々の診療の研鑽に活用すること、また、診療報酬改定時のより迅速な資料の配布・説明があり、病院管理者の立場としても心強く感じております。

勤務医も多忙であることに加えて、勤務医に協会を知ってもらい利用を訴える機会はなかなかありません。協会は定期的に大規模な宣伝活動を展開していますが、

より具体的に入会を働きかけるためには、フェイスツーフェイスでの紹介や声かけが不可欠です。

協会は、阪神・淡路大震災や淡路島での台風水害などの際、どこよりも迅速に対応してくれました。勤務医にとつても、さらに医療機関にとつても、協会に入会すること、会員として各種事業を利用することのメリットは大きいはずですが、開業医の先生方からも、つながりのある病院での説明会開催依頼や、知り合いの勤務医への直接の紹介などに取り組んでいただければと思います。

さらに病院では、協会の宣伝活動を、勤務医とその家族、病院職員とその家族、外来の患者さんや家族に容易にできます。その点からも、もつと病院への働きかけをすべきだと考えます。

職員接遇研修会を開催

「まずは二週間、実践を」



医療機関職員二十一人が参加し好評を得た

淡路支部は四月二一日にオンラインズ淡路で、職員接遇研修会を開催した。「患者応対のスキルアップ」基本から応用

まで」をテーマに、YOU企画代表・マネジメントコンサルタントの松田幸子先生が講演。医療機関スタッフ二十二人が参加し、和やかな雰囲気の中、窓口や電話でのマナーなどについて学んだ。

松田先生は、患者さんへの「暖かいもてなし」を意味する「ホスピタリティ」を表現するためのツールがマナーであるとして、患者さんの視覚と聴覚に訴える要素を中心に説明した。

視覚では、表情・動作・身だしなみなどのポイントを列挙。中でも、笑顔は意外に実践できていない人が多く、表情筋を鍛えるために笑顔の訓練や自己チェックを行うとよいとした。

聴覚では、あいさつ・言葉遣い・話し方(声のトーン)が重要だと強調。明るいトーンでのあいさつ・返事も、対人コミュニケーションを円滑にする上で欠かせないと述べた。

また、感じの良い話し方を身につけることで、スムーズなコミュニケーションが可能になると説明。「恐れ入りですが」「お手数ですが」などのクッション用語や、相手の発言を受け入れてから否定する「Yes、No」法などのテクニックを紹介しつつ、何よりも相手のことを思いやる気持ちを常に持ち、発現させることが大切だとした。

松田先生は参加者に、「表情も話し方も、頭でわかっているも体が動かないことが多い」「自然な接遇が身につくよう、研修会で学んだことを、最低でも二週間、意識して実践を」と呼びかけた。

参加者からは、アンケートでも「具体的な内容でわかりやすかった」「あつという間の二時間だった」「笑顔が大切だということがわかりました」など好評を得た。